

女性同窓生エッセイ一期一会 第7回 上沢美咲さん (87期)

1. 関東同窓会との最初の出会いやきっかけ

東京上田会発足の会に出席する機会をいただき、舞台俳優と言う職業柄、51期の先輩方中心に私の出演舞台をご観劇いただくようになり、所属する劇団前進座のファンとなってくださいました。亡くなられた村田 寛先輩、武井 厚先輩も長く応援してくださり、感謝に堪えません。お二人のご縁で関東同窓会も知ることになりました。

2. 関東同窓会に想うこと期待すること

現役高校生や同郷の先輩後輩の活躍を知ることができ、励まされています。

一昨年の豪雨災害の際もいち早く支援の輪が広がったのは、同窓会の存在が大きいと思います。

心の支えでもあり、恥ずかしく無いようにと言いますか、自らを律し襟を正してくれる存在です。

3. 高校時代一番の思い出

演劇班で活動しておりましたが、同窓会館が芝居の稽古場であり、大道具製作場所でした。仲間とは、今でも交流があります。

4. 近況など

劇団前進座に所属し、俳優として舞台中心に活動しています。

前進座は創立 91 年目を迎える老舗劇団で、東京半蔵門の国立劇場での歌舞伎公演を定例としている他、京都南座や大阪、名古屋での大都市公演に加えて、全国各地に健やかな芝居を届けております。

コロナ禍、どの業種も大変な中、演劇界も公演の中止や客席制限など苦しい日々は続いています。生の舞台にしか出来ない仕事がある、と改めて感じております。

3月から4月にかけて、私の出演する山本周五郎原作の舞台劇『ひとごろし-喜劇一幕-』が全国巡演。東京公演を同窓会の先輩方にご観劇いただける機会に恵まれ、大変ありがたい事です。

(HP 担当より)

『ひとごろし-喜劇一幕-』

2022年3月6日(日) 東京都江戸東京博物館 1階大ホール

詳細は[こちら](#)、または、[こちら](#)です。



舞台『ひとりし』



舞台『ひとりし』



映画『駆け込み女と駆け出し男』



舞台『明治おばけ暦』



プライベートスナップ